

真宗大谷派 宮法山 即得寺



文治年間(1185-89)伊勢国、熊野権現に奉仕していたという、鈴木三郎繁家は、かつては源義経に仕えた豪の者であった。

義経が兄頼朝の不興を蒙り、僅かの郎党を従えて奥州に落ちたが、その中に繁家も従っていた。繁家の妻子はその跡を慕って、東に下ったがその途中、地名を誤って、尾張国羽黒郷に足を留めた。消息の絶たれた繁家をたずねて奥州にまで下ることは、足弱の女子供には不可能なことだった。

風のたよりに、義経も繁家も藤原一族の手に依って討たれたと知り、遂にこの地を離れ得ず永住の地と定めたのである。以後繁家の菩提を弔いつゝあったが、明徳年間(1390-1393)にいたり、その裔孫、観智のとき、この一宮に來り、九品寺の東北の地にあって、天台宗の一字を建立 阿弥陀如来を本尊として、宮法山長福寺と称した。ときに応永元年(1394)であった。

応永十九年(1412)観智は真宗に改めて、寺号を即得寺と改称した。慶長年中(1596-1614)七世願誓の時代に現在の地に移ったのである。

本尊阿弥陀如来の靈驗あらたかなため信徒も多く、江戸幕府の初期に許しを得て透塀を建てたという。当時境内の建物は、本堂、水屋、茶所、鐘楼、透塀、庫裡、書院などがあり、三百有余戸の檀徒があった。今次の戦災によって一切を失ったが、戦後間もなく再建がなされた。

史録 いちのみや(松本勝二著)郷土出版社より



〒491-0851
愛知県一宮市大江2-7-20
即得寺

JR尾張一宮駅、
名鉄一宮駅から
約700m

駐車場12台有り

ご見学随時承ります。墓じまいやお墓のお引越、生前予約などご相談ください。

0586-71-7146 <https://sokutokuji138.com/>



本堂の横に納骨堂の出入口があります。納骨堂は毎日、朝7時～夜19時までお参りしていただけます。

即得寺納骨堂
俱會一處

安寧



ご家族・ご夫婦・ご友人と様々な単位でご遺骨を収蔵することができ、
管理の手間なくいつでも快適にお参りできる屋内の納骨堂です。

Aタイプ 間口 60cm



冥加金 **300** 万円

屋根付き / リンダ仕上げ(金) / 格子扉
外欄間付き / 絵柄付き / 飾り柱6本

Bタイプ 間口 40cm



冥加金 **210** 万円

屋根付き / リンダ仕上げ(黒) / 格子扉
外欄間付き / 絵柄付き / 飾り柱6本

Cタイプ 間口 40cm



冥加金 **180** 万円

リンダ仕上げ(黒) / 格子扉
外欄間付き / 絵柄付き / 飾り柱4本

Dタイプ 間口 35cm



冥加金 **160** 万円

リンダ仕上げ(黒) / 平扉 (飾り金属なし)
絵柄付き / 内欄間なし / 飾り柱2本

冥加金について

A～Dタイプの納骨壇の冥加金には、以下の内容が含まれています。

- ・納骨壇永代使用料 (年会費を収めた方)
- ・納骨料 (1人分) 20万円
- ・納骨壇御移徒料
- ・契約初年度の管理料 (年会費) 1万円
- ・御本尊
- ・仏具一式
- ・カードキー2枚 (出入口用)

※ 2人目以降の納骨 … 1人 20万円
(納骨法要料・永代経志含む)

※ 2年目以降の管理年会費 … 1万円

Eタイプ 間口 40cm



冥加金 **15～25** 万円

期限付使用

50年納骨 **50** 万円

30年納骨 **30** 万円

10年生前に購入される場合) **10** 万円

納骨冥加金 + 期限付使用 = 購入代金

即得寺では期限内ご遺骨を納骨壇にお祀りし、その後、ご遺骨を合祀墓に移して合葬します。
お寺がある限り責任をもって管理をしていきます。